



Daily Life at FUZOKU とは

この記事は金沢大学附属高校の生徒の学校生活や学校行事、執行部の活動について記載していくものです。この記事を通して附属高校の楽しさや魅力に気づいていただくと幸いです。

●○教育実習期間●○

附属高校では毎年9月に1ヶ月間の教育実習期間が行われます。毎年生徒は普段とは異なる授業に対して新鮮な気持ちで取り組んでいます。今年は32人の実習生を迎えています。教育実習が始まって約3週間が経過した現在、附属高校生には教育実習生の授業を受けた感想、教育実習生には附属高校生に授業をした感想を聞いてみました。

●○教育実習生の授業を受けた感想●○

個性豊かな先生方の話はとても面白いです。私は、いつもと違う先生の授業を気持ち新たに意欲を持って受けています。中学校のときは異なり、授業以外でのコミュニケーションを多くは取れないので実習生と授業内でコミュニケーションを取れるのがとても楽しいです。何より、コロナ禍で教育実習ができ、いつもと違った授業を受けられて本当に良かったと思います。

自分は数Ⅲ、現代文、コミュニケーション英語、古文、地理を教育実習生から教わりました。正直、高校の先生よりもわかりにくい事などもありましたが、質問するとすぐに教えてくれたり、迷った時に声を掛けたりしてくれて助かったこともたくさんありました。実習生によっては、最後の方の授業が最初と比べてとても面白い授業になる方もいてとても楽しかったです。また、自分の趣味の話や、高校時代の話

をしてくれる実習生などもいて、授業以外でも話ができ良かったと思います。多くの教育実習生の授業を受けるのはとても貴重な体験になりました。

●○附属高校生に授業をした感想●○

附属高校で教育実習をさせていただいて素直に感じるのは「附属高校生ってすごい」ということです。知識量が多いだけでなく、自ら疑問を持ち、思考する力が非常に高いと感じます。小さな点にも疑問を見出す生徒に感心する一方で、授業には入念な準備を要します。また、生徒の疑問から学ぶことの大切さを学んでいるように感じます。

(コミュニケーション英語Ⅱ担当)



附属高校生の良い所は、「面白い」所だと思います。山月記と一緒に読解する中でも、多様な視点に基づいて、普通の高校生には考えも及ばないアイデアを次々出してくるのは附属生の面白みだと痛感します。自分は俳句をやっているので、附属高校生の皆さんには俳句のような自由な文学に触れることで、その自由で面白い発想を伸ばして欲しいと感じています。

(2年現代文担当)



生徒会公式Twitterではホームページの更新情報を発信しています！

是非フォローお願いします！

生徒会公式Twitter https://twitter.com/kfshs_souncil

